

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成 15(2003)年度第 2 回情報化委員会・相互協力委員会合同委員会議事録

日 時：2003 年 7 月 25 日（木）10 時 ～ 12 時

場 所：愛知学泉大学豊田キャンパス 1 号館大会議室

出席者：

- ・ 情報化委員 三浦文博・水野玲子（愛知大学）、広瀬久美子（愛知学院大学）、有田哲治（愛知工業大学）、山本祐子（朝日大学）、春日井正人（中京大学）、古田明彦（中部大学）、川上雅子（豊橋創造大学）、柿原明子（名古屋経済大学）、石井知好（南山大学）
- ・ 相互協力委員 鈴木卓美（金城学院大学）、浜口庸介（愛知大学）、足立祐輔（愛知学院大学）、丹羽直美（愛知学泉大学）、柴田なおみ（椋山女学園大学）、西本和雄（中京大学）、蓑島智子（中部大学）、時實育代（日本福祉大学）、水野仁子（名城大学）、松永ひとみ（鈴鹿医療科学大学）計 20 名

記 録：川上雅子（豊橋創造大学）

【協議事項】

議事に先立ち、次の 2 点について説明、報告された。

- ・ 第 4 回合同委員会の開催日は 11 月 21 日（金）に変更
- ・ 図書館管理・運営実務責任者会議は第 1 回を 10 月 2 日に名城大学で開催、第 2 回を 11 月 26 日に開催する予定

1. 東海地区協議会ホームページについて

- ・ 内容、及びレイアウト等について

三浦委員長（情報化）より構成や内容について協議し、ホームページに反映したい旨の説明があり、現在のホームページ画面を見ながら各ページの内容及びレイアウトについて修正箇所等協議された。修正箇所等の概略は次の通り。

トップページ：TOPICS は期日が過ぎたものは更新履歴に移動させる。

協議会概要：東海地区協議会ホームページ公開同意書は削除する。

加盟館名簿：当面はこのまま運用し、私立大学図書館協会の名簿の整備完了後、リンクをはる方向。

年間行事予定：私立大学図書館協会の書式を採用し、年度ごとにリンクをはる。次年度の予定も決定次第、掲載する。

館灯：現在、三浦委員長が紀要ポータルへ移行作業中。名簿と広告以外はすべて登録することが確認された。

相互協力委員会：レファレンス事例集、掲示板は削除する。

図書館管理・運営実務責任者会議：行事予定を修正する。メールアドレスを訂正する。

トップページへのリターンボタンを作成する。

- ・ メンテナンス作業について

三浦委員長より情報化委員のホームページ担当者とおおまかな分担が説明された。更新の要求は三浦委員長宛に送り、情報化委員で更新箇所の確認後、各委員長、理事校が確認するという手順であることが説明された。

- ・ バックアップの取扱いについて

現段階ではホームページの容量に充分余裕はあるが、今後のホームページデータのバックアップや保存方法について検討することとなった。年度ごとのデータを CD-R などの記録媒体に保存する方法など提案されたが、ホームページ上に残すものやホームペ

ページ上から削除し別媒体に保存する方法について、各委員会で素案を作成し再度協議することとなった。バックファイルの取扱については理事校の承認後、ホームページ運用に係る申し合わせに掲載することが確認された。

2. 2003 年度情報交換会について

時實委員（相互協力）より素案が提示された。今年度の情報交換会については合同で開催すること、内容については情報交換（分科会）をメインにし、単独の講演や事例報告は実施しないことが確認された。全体案としてはアンケート報告、分科会、全体会、業者デモとなった。各委員会の担当者を中心に内容を絞り込み、次回委員会で内容や役割分担の決定、第 4 回委員会で確定、案内発送という日程となった。アンケートについては情報化のシステム・ネットワーク化アンケートに相互協力の項目を追加し、次回委員会時に発送することが確認された。回答方式についてはこれまでと同様に、前年度回答を各館に郵送し、**WEB** による回答をしてもらうこととなった。

3. 東海地区協議会研究会との連携について

研究会レファレンス事例集について、プログラム修正などのシステム運用は三浦委員長が担当することが説明された。また鈴木委員長より各委員に事例集の動作や内容などについて意見をだしてほしいとの依頼があった。

4. リンクデータベースの維持について

三浦委員長よりリンクデータベースについては、両委員会で現在あるものをメンテナンスして維持し、研究会で新規追加をする方向であることが説明された。資料のカテゴリ一覧に基づき、総記から歴史を相互協力、社会科学からその他を情報化が担当することになり、データの確認・修正・削除手順が説明された。現時点で約 4 割がリンク切れとなっているので、すべてのデータについて確認、修正を次回委員会までに完了させることとなった。

以上